

# 復興「ありがとう」ホストタウンの新設について

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局は、被災3県（岩手県、宮城県、福島県）の自治体に対し、これまで支援してくれた海外の国・地域に復興した姿を見せつつ、住民との交流を行うホストタウンを「復興『ありがとう』ホストタウン」として新設し、2020年に向けた交流を全面的に支援。

## 復興「ありがとう」ホストタウンとは

- 交流相手の主体を「被災時等に支援してくれた方々」も  
被災時に現場に入って支援してくれた各国のレスキュー隊員や、支援物資等を送ってくれた方々など、復興に貢献頂いた方々を被災地に招いた交流を行う。
- 交流を機に「復興プロセスの発信」を  
交流の機会に復興のプロセスの説明や、各地の被災地ツアーの参加などを行い、被災地の過去と現在の紹介を実施。
- 東京大会開催後の大会関係者との交流を重視  
2020年の東京大会の競技終了後に、相手国・地域の選手等とリラックスした状況での交流を重視。

※国・県が連携しホストタウン登録前の自治体を公募し（10月末締切り）、登録に向けて全面的にバックアップ。

## 【交流のイメージ】

- ・和太鼓の支援を受けた小中学生が支援を頂いた国の子どもたちと交流
- ・コミュニティホール建設の支援を受けた自治体が支援を頂いた国の関係者と同ホールで交流
- ・従来から学校建設の支援をしていた国から震災時に受けた支援へのお礼を兼ねて交流

【担当】内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局  
荒井、安藤、金子（TEL:03-3581-0163）